

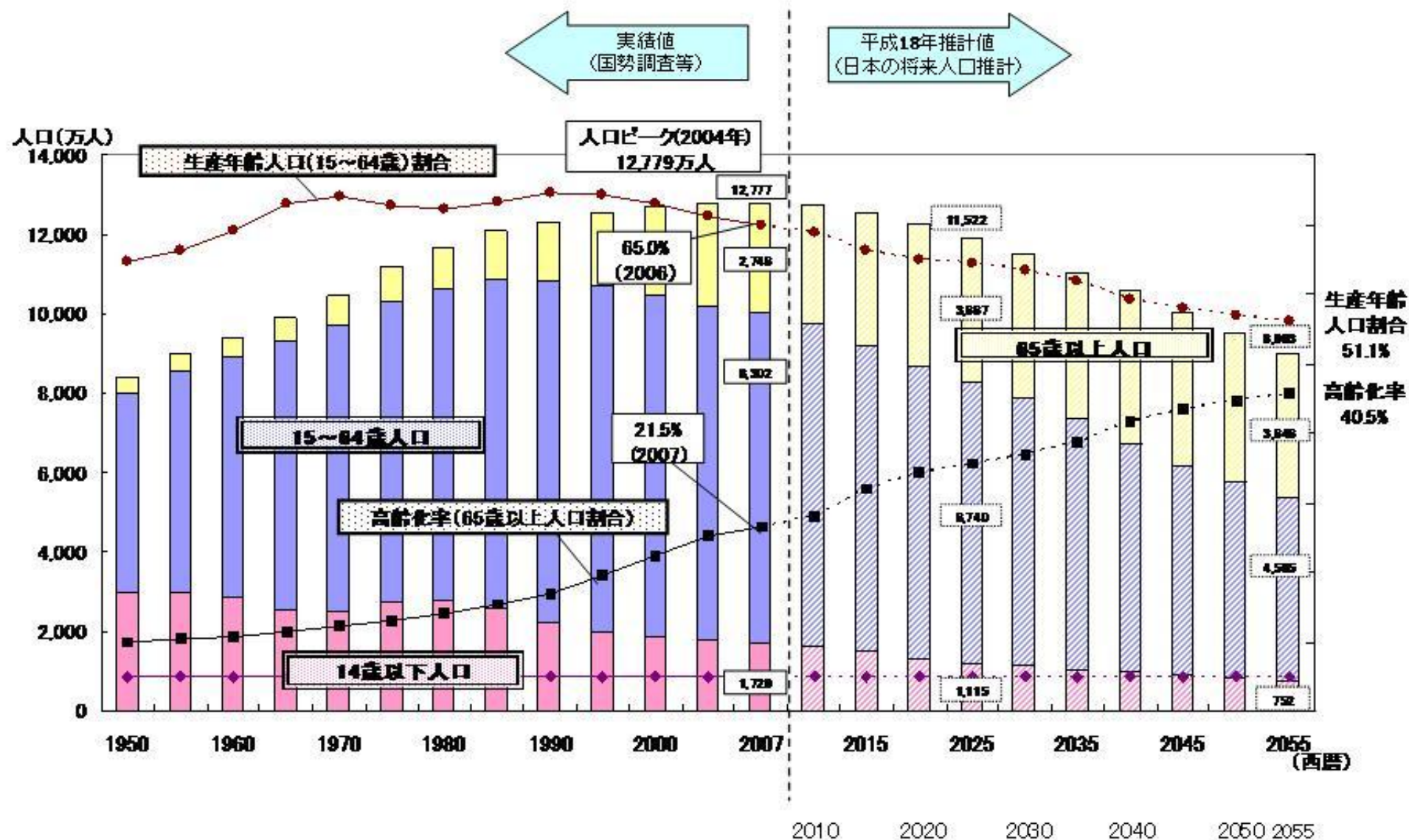
もやいネット周南における

「もやいネット地区ステーションについて」

社会福祉法人  
周南市社会福祉協議会 本部 業務課  
山本 多恵

# 我が国の人口の推移

○我が国の人口は2004年にピークを迎え、減少局面に入っている。2055年には9000万人を割り込み、高齢化率は40%を超えると推計されている。



# 人口ピラミッドの変化(1990~2060年)

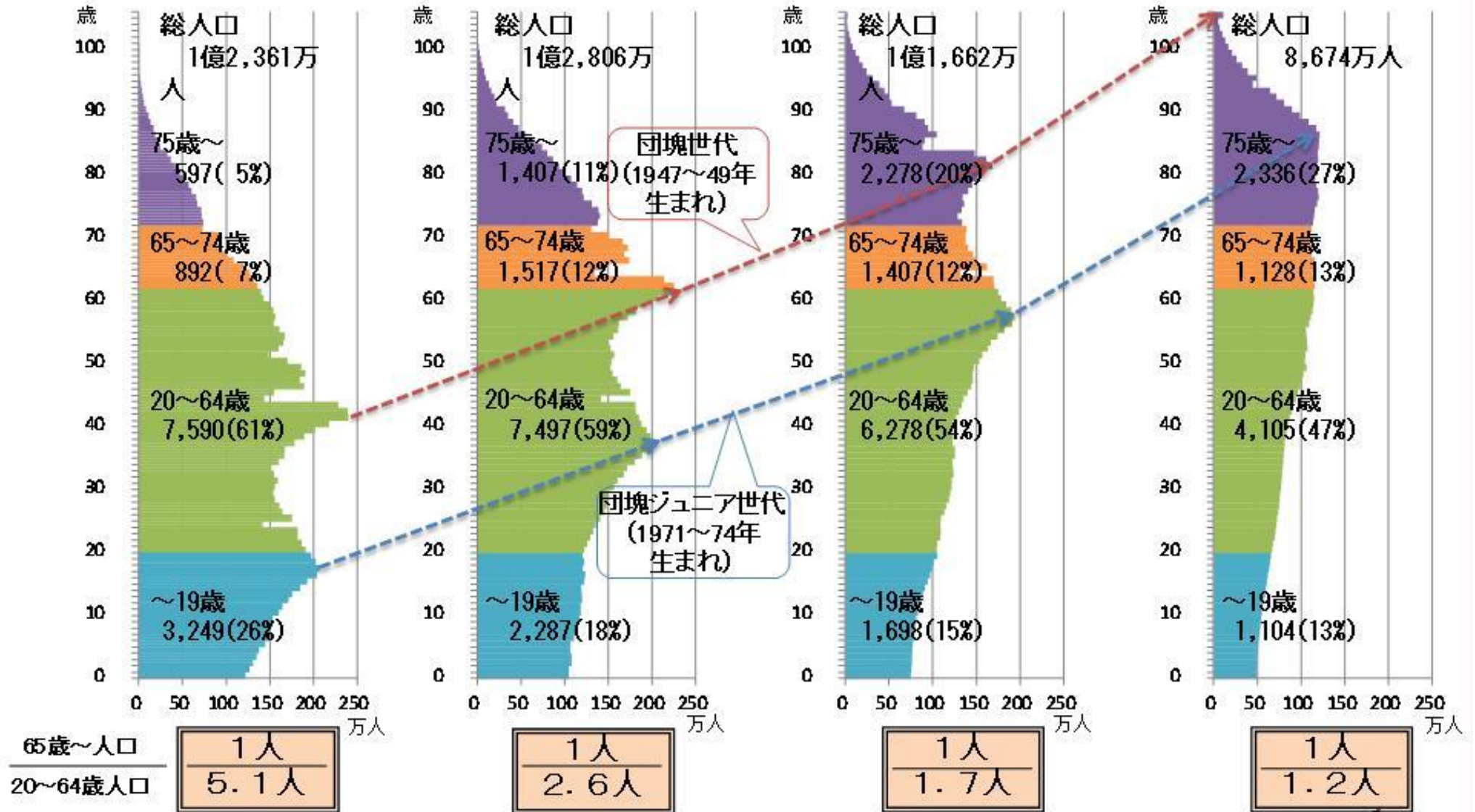
○ 日本の人口構造の変化を見ると、現在1人の高齢者を2.6人で支えている社会構造になっており、少子高齢化が一層進行する2060年には1人の高齢者を1.2人で支える社会構造になると想定

1990年(実績)

2010年(実績)

2030年

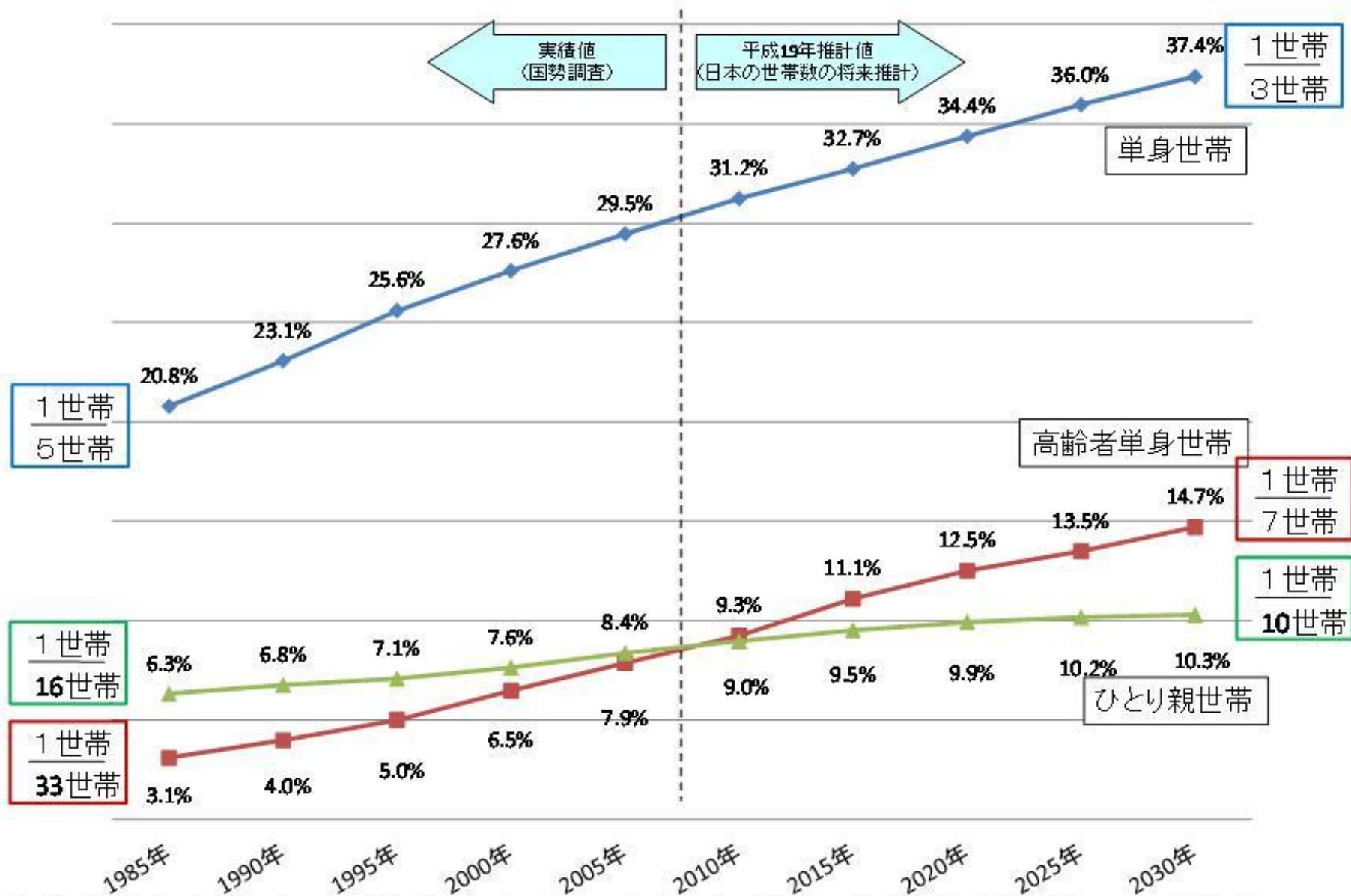
2060年



(出所) 総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計):出生中位・死亡中位推計」(各年10月1日現在人口)

# 世帯構成の推移と見通し

○ 単身世帯、高齢者単身世帯、ひとり親世帯ともに、今後とも増加が予想されている。



(出典) 総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)(2008年3月推計)」

## 地域をとりまく状況①

- 高齢化の進展に伴う75歳以上のひとり暮らし世帯・高齢者夫婦世帯・認知症高齢者の増加
- 世帯(家族)の小規模化(核家族化)  
＝家族関係の変化(家族機能の低下)
- IT化に伴うコミュニケーションの変化
- 合併による広域化と中山間地の過疎化



# 周南市の概要

## 周南市の人口

(平成25年6月30日現在)

- ・人口 149,087人  
男性:72,009人 女性:77,078人
- ・世帯数67,792世帯
- ・高齢化率:26.7%
- ・一人暮らし高齢者数:6,200人



## 周南市での見守り体制

○地域で高齢者の見守り活動に携わる方々  
(共助、互助としての見守り)

・民生委員、福祉員

○公助としての見守り

・周南市もやいネットセンター  
見守り配食事業

など…



## もやいネット地区ステーションの設置目的

・今後の高齢者人口の急速な増加が予測される中で、アウトリーチ機能を持ち、地域の福祉活動の要となって見守り活動をけん引していく役割を担うものとして、市社協職員として雇用した「地域福祉コーディネーター」を今後3年間で31地区社協単位に配置する。

※孤立死・孤独死ゼロのまち周南を目指す





## 地区ステーション設置の基本構想

○地区公民館等を地区拠点として位置づけ、(初年度10地区、3年間で全地区をイメージ。)、そこに地域住民の中から地域福祉コーディネーターを選任し、配置します。

○特に見守りを必要とするひとり暮らし高齢者を対象にした、訪問支援活動を展開し、孤独死・孤立死を未然に防ぐ活動に取り組み、高齢者の安心・安全な生活を担保します。



## もやいネット地区ステーションの設置

### ○平成25年度 地区ステーション設置地区

包括名	地区社協名	設置場所
東部包括エリア	久米地区	久米公民館内
	三丘地区	三丘徳修館内
鼓海園包括エリア	岐山地区	岐山地区社協事務所内
医師会包括エリア	須金地区	須金支所内
西部包括エリア	和田地区	和田公民館内
	夜市地区	夜市公民館内
	戸田地区	戸田支所内
	湯野地区	湯野支所内

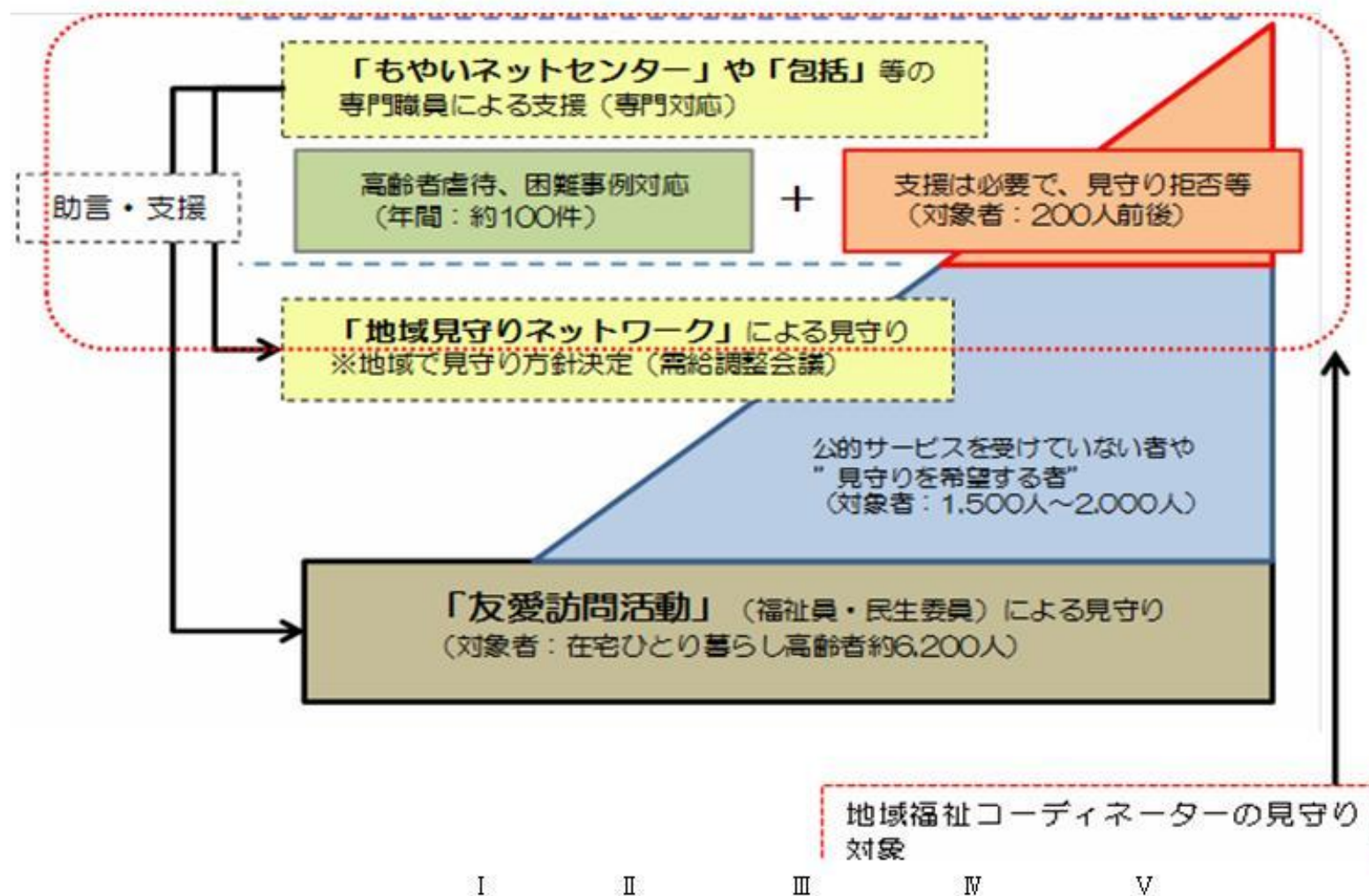


## 地域福祉コーディネーターが訪問する 見守り対象者とは…

- ・概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者（「地域見守りネットワーク」の見守り対象者）
- ・「需給調整会議」で選定された見守り対象者への訪問。
- ・自分からSOSを出すことが難しい、ひとり暮らし高齢者への訪問。



# 地域見守りネットワークにおける 地域福祉コーディネーターの見守り対象者イメージ



## 地域福祉コーディネーターの役割

- ・訪問活動を行い、見守り対象者の状況変化に、いち早く気付く役割。
- ・変化に気づいたら、適切な機関につなぐ役割。
- ・積極的に訪問活動を行い(アウトリーチ)、生活上の困りごとなどの把握を行う。
- ・地域での見守りの目を増やす。



## 地域福祉コーディネーターの活動内容

(1) 主に地域のひとり暮らし高齢者世帯(民生委員・福祉員からの訪問依頼世帯)を対象に訪問活動を行い、安否確認をするとともに、生活課題を早期発見し、関係機関につなぎ早期対応を図る

(2) 地区社会福祉協議会が行う、地域見守りネットワーク活動の調整役を担う。(「需給調整会議」開催の調整等)

(3) 訪問対象者の近隣住民に対し、見守り活動への参画を促す。(地域見守りネットワークを構築)

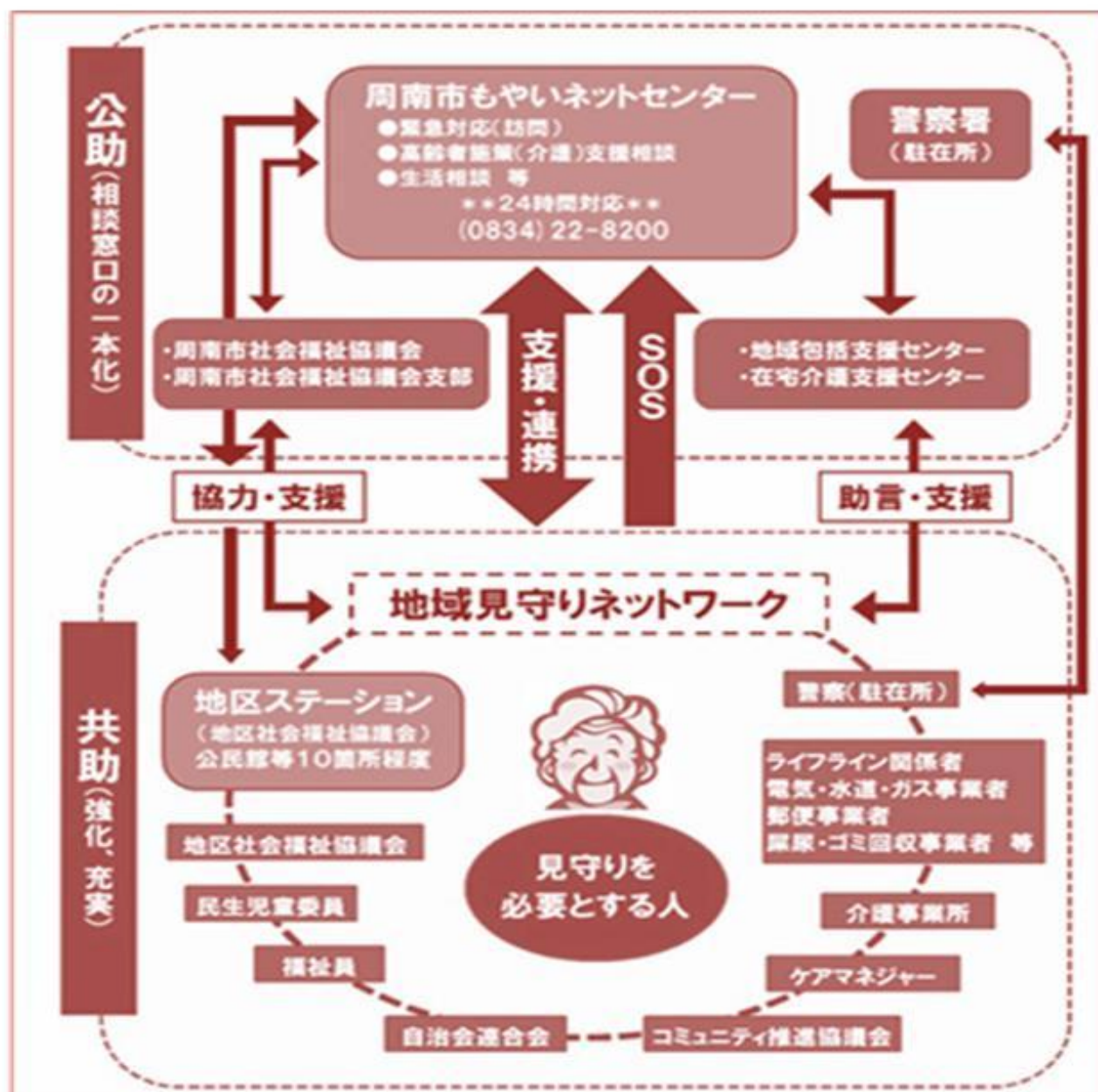
## 地域福祉コーディネーターの活動内容

(4)「周南市もやいネットセンター」、及び地域の見守り活動関係者からの安否不明にかかる連絡を受けて現地におもむき、関係者と協働し、早期対応に関わります。

(5)必要に応じ、地区社会福祉協議会の事務処理の一部を支援します。(任意)

※周南市社協では、地区ステーションごとに担当職員を配置し、設置初年度内、午前か午後のいずれかに担当地区へ出向き、地域福祉コーディネーターとともに訪問活動を行います。

【●周南市の「見守り活動」体系図●】





## 地域福祉コーディネーターの活動

### ○事例

「需給調整会議」を開催し、ケアマネジャー等の介護保険事業者等と連携し、今後の見守り活動について検討した事例。

#### (事例概要)

市営住宅が多くある地域において、市営住宅管理会社職員、市営住宅管理人も含めた、高齢者の見守り活動について検討、情報共有、意思統一を行った。



## 地域福祉コーディネーターの活動

### ○ ○ 事例2

ケアマネジャー、介護保険事業所と連携し、対応した事例

(事例概要)

うつ状態にあり、介護保険サービスを利用するも、体調管理ができず、入退院を繰り返している。

介護保険サービスの利用がない日に、見守りとして地域福祉コーディネーターが訪問し、様子伺いをする



ご清聴ありがとうございました。

